

ガバナー月信 11月号

Rotary
第2750地区奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Governor's message

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度ガバナー

三浦 眞一

地域と世界のために、
寄付と補助金活用は
ロータリアンの義務2021-22 Governor,
Rotary International
District 2750

Shinichi Miura

2021-22年度がスタートして以来、各クラブの皆様はコロナ禍の中で、各種事業や例会の開催等で大変なご苦労があったことと思います。公式訪問も例外ではなく、懇談会はリアルで開催していただきましたが、例会はZoomでの開催になり、会員の皆様と直接顔を合わせることができず、大変残念な思いをいたしました。またクラブのご意向で懇談会だけを開催し、例会はコロナの動向を鑑みながら別の日に開催してほしいというご依頼も多く、地区幹事・副幹事は、日程調整に追われる日々でした。心より御礼申し上げます。「地区はクラブとともにある」という一心で、クラブのご意向を尊重し、例会訪問の責務を果たすべく、すべての地区役員が一丸となってコロナ禍の中、責務を全うすべく活動をしていますことをご報告申し上げます。

11月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団は、アーチ C. クランフ会長の「基金をつかって世界でよいことをしよう」という提唱により設立され、世界に誇る大規模で素晴らしい実績を上げています。寄付をするのも、その基金を奉仕活動に生かすのもロータリアンの責任です。補助金には、ロータリーの7つの重点分野に限定して国際的で比較的大規模なプロジェクトに使用していただくグローバル補助金(GG)とクラブが身近な地域社会の中で、地域のニーズに密着した奉仕活動を補

助する地区補助金(DG)があり、クラブの実情に合わせて申請していただけるよう配慮された補助金ですので、多くのクラブに活用いただきたいと思います。またロータリー平和フェロシップや財団の奨学生の派遣にも使われており、素晴らしい成果を上げています。この広がりをもさらに進めていくためのご寄付をお願いいたします。

シェカール・メータ国際ロータリー(RI)会長の提唱による、7つの重点分野を世界7か所で開催する会議の最初の会議が、10月5日、韓国・慶州で開催されました。テーマは「環境」と「疾病予防と治療」。残念ながら、コロナ禍のためにZoomでの参加になりました。「地球環境保全プロジェクト」について第2820地区の新井和雄ガバナーが発表。「疾病予防と治療」については第2570・2630・2710地区のガバナーとともに、私が第2750地区のCOVID-19に関する先駆的なグローバル補助金プロジェクトとして、広尾RCがイリノイ州ネイバービルRCと行った「同地での遠隔医療とコミュニケーションツールの提供事業」「日本・成田での医療従事者への支援事業」の2事業および地区としての「イタリアにおける感染症指定病院の支援」事業について発表をいたしました。YouTubeで配信([国際ロータリー会長会議](#))で検索。2時間を経過したあたりから発表開始)されています。ご覧ください。Serve to Change Livesを実践するために…。

ロータリー財団月間

1917年、国際ロータリークラブ連合会(現、国際ロータリー)会長のアーチ・クランフが、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会で「ロータリーが基金をつくり、世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案し、同大会で採択されました。

後にロータリー財団となるロータリー基金の始まりで

す。最初の寄付は、ミズーリ州カンサスシティー・ロータリークラブからの26ドル50セントでした。当初はなかなか軌道に乗りませんでした。1947年、ポール・ハリスの逝去に際し「ポール・ハリス記念基金」が設けられ、ロータリーの創始者に敬意を表したいロータリアンから次々と寄付がなされました。同年、最初の財団プログラムとして高等研究奨学金が実現しました。



どんなところ? こんなところ! グループ紹介

11クラブ会長の強いリーダーシップを幹事がしっかりサポート

山の手東グループ ガバナー補佐 宮村 和加子 (東京広尾RC)

各会長の方針には会員やクラブに向けた熱い思いが込められており、その実現に向けて幹事の皆さんがしっかりと支えています。

東京西RC「美しい未来のために、笑顔で奉仕」久保弘憲会長・森達也幹事：永年の伝統を守りながら美しい世界実現に向けて奉仕に取り組む。**東京城西RC**「伝統を守り革新に挑む」古屋文隆会長・松井陽介幹事：幅広い年齢層で自由闊達な雰囲気のもと60周年に向けて準備。**東京西南EC**「少しだけ周りに関心を持とう」小掠恭子会長・岡田雅晴幹事：楽しい例会や奉仕活動を通じて会員間の親睦を重視した一年を目指す。**東京原宿RC**「参加しよう、行動しよう」高梨一郎会長・水村元晴幹事：奉仕活動や親睦、奨学生支援の強みを生かしたクラブ運営。**東京杉並RC**「繋げよう、杉並ロータリーの未来へ」大澤健太郎会長・小杉文晴幹事：若手会長のトップバッターとして次世代ロータリー運営を考える。**東京神宮RC**「人と人が会うこと、ポスト“コロナ”はまず親睦そして奉仕」長谷田孝子会長・眞鍋淳也幹事：ロータリーの基本を取り戻し、親睦と奉仕に注力。

東京恵比寿RC「ロータリーファースト～クラブによる奉仕と親睦と生涯学習～」小幡敏之会長・柳田一行幹事：ロータリーの基本に戻り、例会運営、親睦、奉仕の充実を図る。**東京広尾RC**「Rotary Makes You Happy!!」吉田太郎会長・パブロプーガ幹事：他の人を幸せに、自分自身も幸せを感じるロータリー活動を。**東京渋谷RC**「友情を深めて、奉仕を実現しよう」北野晃司会長・田中芳樹幹事：各委員会の横の連携による増強、親睦、奉仕を行う。**東京六本木RC**「つなげよう ロータリーの㊦！」(＝和・輪) 柏原玲子会長・高倉太郎幹事：和と輪を広げて会員増強、ロータリーの発展につなげる。**東京愛宕RC**「リアルとオンラインで繋がる地域と世界」関端広輝会長・高坂有良幹事：ITを生かした奉仕活動も。10周年に向けて成長期の総仕上げ。



グループ協議会(オンライン)
皆様笑顔!

やる気・変化・多様性の基に歴史、自由、伝統を重んじ活気のある楽しいグループ

山の手西グループ ガバナー補佐 松岡 啓司 (東京成城RC)

山の手西グループは12クラブで構成されております。(設立順です。)

クラブ	会長	幹事
1. 東京世田谷RC	大友 敬	矢作千鶴子
2. 東京目黒RC	寄森 亘	三田晴彦
3. 東京成城RC	飯島 修	中村知光
4. 東京世田谷南RC	鈴木明彦	仲野貴乃
5. 東京城南RC	本多伸吉	松岡伸明
6. 東京山の手RC	高村昌秀	天野純一
7. 東京成城新RC	早川政章	種子田清志
8. 東京青山RC	石川肇久	竹原聖二
9. 東京自由が丘RC	長岡拓也	安藤轟一
10. 東京米山友愛RC	中田俊明	韓 美善
11. 東京米山ロータリーEクラブ2750	肖 慧潔	燕 少陽
12. 東京代官山RC	黒川 彰	和佐野有紀

山の手西グループは、各クラブの問題をグループ全体の問題として考えてアドバイス、協力、相互信頼を大事してグループ協議会を通して楽しく実りあるグループを目指しております。

また、「ロータリーの原点はクラブに有り」「奉仕が人をつなぎ、人が奉仕をつなぐ」の精神を大事にしたグループ活動をみんなでやりきって、笑顔で終わられる1年間にしたいと思っております。

12クラブは国際色豊かでさまざまな職業人の集まりであり、常に自由な発言ができる環境を大事したグループ協議会を目指し開催しております。

最後になりますが、ロータリアンは「奉仕と親睦の心を持って世の中に良いことをしよう」の精神で楽しみながら少し頑張りましょう。



ロータリー財団委員会の使命について

ロータリー財団委員会 委員長 安保 満 (東京昭島RC)

地区ロータリー財団（以下、R財団と表記）委員会の使命は大きく2つあります。「R財団プログラムへの参加を増やすこと」、「R財団に対する財政支援（寄付）を増やすこと」です。

一つ目の使命に関しては「プログラムを知らなければ参加できない」という観点から財団月間の卓話やホームページ等による広報活動の強化、セミナーやハンドブックによるR財団プログラムを体系的に学ぶ機会の提供を行っております。また、「参加しやすいものでなければならない」という観点からセミナー申込のWeb化や補助金申請・報告のWeb化等の改善を行っております。（地区補助金のオンライン申請は今年度よりリリースされました。また地区補助金の報告書提出に関しても同様にオンラインでの対応が可能となります）

さらに「参加する価値のあるものでなければならない」という観点からロータリアンの立場でR財団プログラムを考え地区裁量分のルール改訂や地区予算の配分見直しを実施しており、ロータリアンに提供できる価値の本質を明確に伝えることをテーマとして活動しております。

二つ目の使命に関してはロータリアンに気づきを与え意欲を高める必要があるため、誰もが感じているR財団に対する疑問（R財団はなぜ存在するのか、R財団の財務状況はどうなっているのか、私たちの寄付はどのように使われているのか等）にしっかりと応える必要があります。R財団の高潔性、財務健全性、透明性そして第三者のR財団に対する評価を伝えR財団に対する誇りを培い、自分たちの財団であるという自覚と責任感を醸成することで結果的に財政支援が増えると考えております。

三浦ガバナーはリーディング地区にふさわしい寄付金額の維持を地区強調事項としております。R財団委員会は地区ロータリアンとの関係性を強化し信頼関係を構築できるよう尽力してまいりますので、今後ともR財団に対するご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

「世界ポリオデートレインジャック」プロジェクトについて

公共イメージ委員会 委員長 田中 靖 (東京小金井RC)

世界ポリオデーとは、ポリオワクチンを開発した米国の医学者ジョナス・ソーク氏の功績に敬意を表し、彼の誕生を記念して10月24日に定められました。この日には世界中のロータリアンとローターアクターがポリオ根絶活動の認識を高め支援を募るための行動を起こします。

2021年、私たち国際ロータリー第2750地区は公共イメージ委員会とポリオプラス委員会の協同事業として「世界ポリオデートレインジャック」プロジェクトを開催しました。これは都内を走るJR東日本の女性専用車両の中塗り広告を一週間借り切って「End Polio Now」の広告を出すもので、その模様を各会員が自身のSNS上にアップし拡散を図るという試みです。ロータリーの公共イメージアップとポリオ啓蒙活動の、きっかけを地区がつくるので実際の活動は各会員に行っていただくという趣旨のものです。幸いにこのプロジェクトは第2580地区（東京沖縄）第2590地区（横浜・川崎）第2770地区（埼玉南東）第2790地区（千葉）からご支援をいただき、クラブや地区を超えた大きなプロジェクトとなりました。

私たちはこのご支援に応えるべく、ポリオデー当日に

ポリオ根絶活動に関わる全ての人々が交流を図れるイベントを有楽町駅前広場で開催しました。ポリオ関連の映像を上映し、フードコートやミニコンサートを行い、道行く方に「End Polio Now」風船を配りました。さらにこのイベントのメインとして「End Polio Now」ウォークラリーを行い、大勢のロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリーが揃いのTシャツとマスクを着用して、東京駅丸の内広場から有楽町のイベント会場までをゆっくりと歩き、ポリオ根絶活動をアピールしました。



国際ロータリー第2750地区会員数報告 - 9月分 -

District 2750 Membership Report September 2021

クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数		
		21年7月1日	21年9月末	増減			21年7月1日	21年9月末	増減			21年7月1日	21年9月末	増減
千代田グループ				東京西南				東京国分寺						
東京南	2	189	188	-1	2	40	41	1	0	37	37	0		
東京芝	0	58	60	2	2	14	15	1	1	39	40	1		
東京新橋	0	53	53	0	4	38	38	0	0	51	51	0		
東京赤坂	4	46	51	5	4	24	24	0	0	42	42	0		
東京みなと	2	32	32	0	3	108	108	0	0	86	87	1		
東京麻布	3	13	14	1	4	26	26	0	1	23	24	1		
東京グローバル	3	19	19	0	3	35	35	0	0	48	48	0		
東京サンライズ汐留	3	16	16	0	3	53	52	-1	3	40	40	0		
銀座・日本橋グループ				山の手西グループ				多摩東グループ						
東京銀座	4	185	184	-1	3	41	42	1	4	51	53	2		
東京日本橋	3	194	197	3	4	33	33	0	0	60	60	0		
東京築地	3	70	71	1	3	15	16	1	1	17	17	0		
東京日本橋東	2	42	42	0	2	87	89	2	0	26	26	0		
東京中央	3	194	196	2	0	15	21	6	0	39	38	-1		
東京日本橋西	3	44	44	0	0	70	69	-1	0	17	17	0		
東京銀座新	4	76	76	0	4	30	31	1	0	26	26	0		
東京シティ日本橋	1	31	31	0	1	16	15	-1	0	17	17	0		
東京中央新	3	56	58	2	0	14	14	0	0	26	26	0		
東京あけぼの	3	19	20	1	3	37	38	1	0	64	65	1		
東京山王	2	37	36	-1	0	35	35	0	0	18	18	0		
京浜グループ				多摩南グループ				バシフィック・ペイスングループ						
東京羽田	0	51	51	0	4	59	60	1	Guam	51	53	2		
東京品川	2	41	40	-1	0	57	60	3	Saipan	4	44	48	4	
東京大森	1	31	33	2	5	31	31	0	Tumon Bay	2	60	62	2	
東京品川中央	0	28	28	0	3	107	107	0	Northern Guam	2	31	32	1	
東京田園調布	1	44	44	0	0	23	23	0	Pohnpei		16	16	0	
東京港南マリン	2	17	17	0	0	34	33	-1	Palau		16	16	0	
東京大崎	4	24	24	0	4	76	77	1	Guam Sunrise	3	14	16	2	
東京蒲田	0	66	66	0	0	35	36	1	Truk Lagoon	0	8	8	0	
東京京浜	0	24	24	0	3	21	21	0	Pago Bay Guam E	2	25	24	-1	
東京田園調布緑	1	18	18	0	0	29	27	-2						
東京白金	3	27	30	3	3	42	42	0	国内87クラブ計	4,226	4,264	38		
東京高輪	2	20	22	2	多摩中グループ				地区96クラブ計	4,491	4,539	48		
山の手東グループ				0	118	120	2							
東京西	0	196	193	-3	4	38	38	0						
東京城西	4	57	57	0										

この記事は、各クラブへの「ガバナー月信 配信版」でご参照ください。

編集後記

渡辺 和彦 (東京銀座RC)

コロナ禍の中で、ガバナー月信の作り方も大きく変わりました。それまでは、原稿が集まった時点で編集会議を開き、フェイス・ツー・フェイスで編集作業が進められてきましたが、メールのやり取りのみで済まざるを得なくなりました。当初はどうなることかと心配しましたが、メールのやり取りのほうが一人一人の委員にとって時間の自由度が高まり、効率的に進められることもわかりました。さらにメールを通して、お人柄にもじみ出るようでフェイス・ツー・フェイスでなくても何とかなることを実感しました。コロナ禍は、従来のやり方を無意識のうちに繰り返し、新しい工夫を真剣に考えようとしないうちへの警鐘となっているように感じます。

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度 ガバナー 三浦 眞一
Rotary International District 2750 2021-22 Governor Shinichi Miura

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750
KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行 ガバナー 三浦 眞一 (2021-22) Shinichi Miura 2021

編集・制作 ガバナー月信・年次報告委員会

委員長 諸星 宗幸 (東京八王子西) 委員 石川 和子 (東京中央新) 竹平 時彦 (東京大森)
副委員長 二神 典子 (東京築地) 渡辺 和彦 (東京銀座) 荒木 賢一 (東京南)
浅川 立憲 (東京八王子西) 太田 智 (東京中央) 須賀川 誠 (東京銀座)

第2750地区ホームページ

<https://www.rid2750.org>

